



音楽運動



日本音楽協会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp



全国代表者会議でも今年度3回目の開催が要望されていた第3回RMM(リモート・ミュージック・ミーティング)を、10月30日(土)、15時~17時に開催することになりました。

スピーカーは、長野県支部の『ローカル線』に依頼し、快諾をいただきました。

第3回RMMを開催します スピーカーはローカル線

今、準備を進めているところですが、比較的急に決まったことなので、まずは「音楽運動」紙上で告知します。

ZOOMへの入室方法は下記に記載しましたが、不慣れな方は日音協へお問合せ願います。

多くの方の入室をお待ちしております。

上写真は、2014年1月11日に「インディアライブザスカイ」というライブハウスで開催された「ローカル線」ライブの様です。50名の入場者で、真紅が4曲、ローカル線が17曲を演奏しました。

7年が過ぎ、創作や演奏にこだわりをもつ3人(大沢・塚本・上村)がどんな演奏とMCを披露してくれるか、楽しみにしています。

(佐藤)

<https://us02web.zoom.us/j/85081346570?pwd=Nk9CWXJpRWZGbTlwXdrZ3FWdmtTUT09>
ミーティング ID: 850 8134 6570
パスコード: 262185

今年も開催します!第5回『イットクフェス2021』

10月24日(日)、10のステージが国会を取り囲み、100人余の演奏者が歌います。コロナ感染拡大を理由に、憲法に保証される人権が公然と奪われる中、『イットクフェス』は演奏者の砦となりつつあります。もちろん、感染対策もバッチリ進めています。是非、国会まで聴きに来てください。

日音協は歌う茱萸坂ステージを担当し、今年もPAを千葉の日下さんをお願いし準備を進めています。日音協関係の出演者は、『反原発歌いたい』『VJkin』『Rico & Tatsu』『おだかずや』『瓦井孔二』『Cantus』『Piggies』そして初出演『THE STAND UP』です。

遠くて聴きに行けないよ、という方は、リアルタイムで配信されるツイキャストの方をご覧ください。「@keitarou1212ツイキャスト」で検索すればヒットします。また、イットクフェスは賛同金とカンパによって運営されています。一口1000円の賛同金によるご支援もよろしく願います。

以下、振り込み口座です。

笹塚駅前郵便局 00140-6-696902 イットク フェス

(イットクとフェスの間はスペースをお空け下さい)

※郵便局以外から、口座に振込む際は「店番」019 店「預金種目」当座 口座番号 0696902 イットク フェスでお願いします。(坂口美日)



9月18日(土)に開催された、『今年もやるぞイットクTV』第四回で、東京都支部のおだかずやさんが熱演、好評を博しました!(昨年からはまったイットクTVは、イットクフェス 宣伝を目的としてインターネット配信される、ライブTVです。)(坂口)



MV (ミュージック・ビデオ) 作成についてのアレやコレや

< MV作成に関心のある方必読です! >

はたらくもののインターネット音楽祭開催にあたり、MV (ミュージック・ビデオ) を作成されている方々に、MV についてのあれやこれやを伺ってみました。日音協からの質問事項は以下のとおりです。

(坂口美日)

● 笠木博逸さん (FM カンパニー) の場合



1、MV を始めたきっかけはなんですか？

今まで、孫の成長や北海道支部の活動の記録を毎年DVDに収め楽しんでいましたが、昨年11月のインターネット音楽会をきっかけに制作するようになりました。

2、使用しているソフトについて教えてください。

Windows Movie Maker (古いソフト)

3、MV を作成して思ったこと、これから始めようとしている方々へのアドバイスなど

コロナ禍で集まれない中、カラオケを作成して、曲想、リズム等を極め音源作りをしたり、映像に歌詩を挿入したりで作品に対する思い入れが変化したように思います。

参照動画

- <https://youtu.be/HTMSBecxWtY>
- <https://youtu.be/brTaI2TIF-4>

● 磯野宏之さん (ブービーバンド) の場合



1、MV を始めたきっかけはなんですか？

ブービーバンドの昨年暮れの発表の「ゲゲゲの総理」をMVにするためでした。始めは歌っている様子をスマホで撮ってそのまま投稿するつもりでしたが、老人3人が歌っている様子は、見るに堪えないものでした。なんとか歌詞付きの映像にならないものかとネットで調査したところ Windows10 の内蔵ソフトでやることにしました。

2、使用しているソフトについて教えてください。

Windows10 に内蔵されている「ビデオ エディタ

ー」を使っています。昔は Windows7 では「ムービーメーカー」がありましたが、10 になって新しいソフトになっています。

ただ、「ムービーメーカー」より出来ることが限定されてしまっているのが残念です。とはいえ、ゲゲゲの総理ではそれなりの映像になっていますので、使いこなせば、ある程度のことは出来ます。また録画はスマホで十分な画質が取れますね。

64 歳の手習いで初めて作ることが出来たので初心者向けには「エディター」は向いています。使い方は「you tube」で検索してください。

3、MV を作成して思ったこと、これから始めようとしている方々へのアドバイスなど

ネットでは「無料の映像ソフトランキング」というのもあるので検索してみてください。ただ「無料」なのは簡単なソフトまでで編集レベルを上げると「有料」になるものもあります。

プロの歌手のMVを見ると 5 秒程度の短い時間で映像が切り替わることで、スピード感を出しています。曲に合わせて「クチパク」の演奏を撮ったり、色々なネタになる映像を沢山と撮っておいて曲にハメてみてはどうでしょう。

参照動画 <https://youtu.be/tORdWEwACGs>

● 南條善徳さん (福島県支部) の場合



1、MV を始めたきっかけは？

昨年の日音協中央で取り組んだ昨年6月「インターネット合唱」がきっかけです。全体で集まることができず、個別に参加してくれる会員の映像と音を県支部として一つの映像にしなくては…との思いから何もわからないままネットで調べて下記のソフトを購入しました。

音声・映像の編集ソフトを使い始めて1年程度の初心者です。

2、使用しているソフトについて教えてください。

現在使用しているのは

(3面につづく)

はたらくもののインターネット音楽祭2021

11月13日、14日に沖縄で開催を予定していたはたらくものの音楽祭は、感染症が拡大を続ける中、昨年に続き中止の判断をいたしました。音楽祭では、沖縄に思いを寄せた演奏や音楽運動をとにもする仲間同士の交流ができるはずでしたが、残念です。顔をあわせての交流には及びませんが、インターネットを活用して、お互いに元気に活動していることを共有し合いたいと思います。

また、10月または11月に衆議院議員総選挙が確実に行われることから、平和、人権、憲法を軽視した政治にストップをかけるための活動が各地で取り組まれることも交流したいと思います。

以上の趣旨で、はたらくものの音楽祭(沖縄)を予定していた11月13日に、昨年6月に続いてはたらくもののインターネット音楽祭2021を開催します。その概要を下記に示しますので、日音協各支部、各労組音協、各サークル、会員のご協力を要請いたします。

記

1 全体像

(1) 日音協は、2021年11月13日にインターネット上に会員や日音協に協力くださっている仲間たちの演奏などの動画を、YouTubeの再生リストとして公開します。なお、昨年のはたらくもののインターネット音楽祭で行った「インターナショナル」の大合唱は予定しません。

(2) 公開予定日 2021年11月13日(土)

(3) 公開する場所

YouTube上の再生リスト「はたらくもののインターネット音楽祭2021」として、日音協ホームページからリンクを貼ります。

2 演奏などの動画

(1) 動画は、音楽祭で演奏するつもりだったうた(曲)の演奏、感染症禍の中で新しくつくられたうたの演奏、スピーチなどです。個人演奏でもグループでの演奏でも構いませんし、自作曲かどうかも問いません(著作権はクリアする必要があります)。

(2) 日音協各支部が1つ以上の動画等を送ってくださるようお願いいたします。

(3) タイトル画面など編集済みのものをいただければ、そのまま公開いたしますし、演奏しているところを撮影したもの(未編集)をいただいた場合は、タイトル画面などを日音協が作成して公開します。タイトル画像には、曲名、演奏者名、作者名を載せることを基本とします。いずれの場合も、実際に公開する姿を確認いただいてから公開いたします。編集にかかわる技術的な点に疑問があれば、ご相談ください。

3 動画等の送り方

(1) 集約期限 2021年11月7日(日)

動画編集やインターネット公開に向けた作業等の時間確保のためです。

(2) お問い合わせは日本音楽協議会あて電話、メール、FAXでもお受けします。ただし、感染症により事務所に人がいる日数を少なくしていますので、郵送や訪問では対応が遅れる可能性があります。

○電話 03-3221-1821

○メール nichion@yomogi.or.jp

○FAX 03-6369-3057

○郵送等 〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15
富士ビル505号

4.日音協のインターネット音楽会2021との関係

(1) 日音協のインターネット音楽会2021ですすでに紹介されている動画で、はたらくもののインターネット音楽祭2021に応募いただくことも可能です。

(2) はたらくもののインターネット音楽祭2021としての再生リストは12月13日までとし、同日中に、動画を日音協のインターネット音楽会2021に移動します。ただし、作者が移動を希望しない場合は、12月13日をもってその動画をYouTubeから削除します。

(3) 9月15日から11月7日までの間、日音協のインターネット音楽会2021への動画も受け付けますが、幹事会としてははたらくもののインターネット音楽祭2021を優先していただきたくお願いいたします。なお、両方の再生リストに同時に公開することも可能です。

(2面からつづく)

・映像編集ソフト 『VideoPad 動画編集ソフト』

・音声編集ソフト 『WavePad 音声編集ソフト』

『Sound Forge Audio Studio』

同じメーカーのものが使いやすいという点から使用。他に皆さんが使用しているソフトで使いやすいものがあれば知りたいと思っています。

3. MVを作成して思ったこと、これから始めようとしている方々へのアドバイスなど

10年目の原発事故の動画作成では、どの曲に映像を創るのか、大事にしたのは音源の質がある程度満足できるものに映像をくわえることです。幸い、手持ちで「草茫々・天神山の見晴らし台から/高山氏CD」「セシウム風に吹かれて/菅井君CD」これらのCD音源があったのでこの曲の歌詞のそれぞれのシーンに合う映像を現地双葉地区に出かけて撮影、編集。高速道路で放射線量の値を示す掲示板の動画を撮るのは自家用車からだったので何度も失敗撮り直し。その後、坂口さんのアドバイスもあり映像に歌詞も付け加え。

最後の1曲「僕は君のそばにいる」は二階堂君の家で撮影。当初用意したカラオケ音源もその場の臨場感に欠けることから、一発撮りに変更しました。(音質はイマイチでした)/高山・南條で演奏歌詞の内容に合わせての映像をどうするのかは感覚的なものなので何とも言えませんが、音源が良ければ何とかかなと思いました。

今一番知りたいのは、音源づくりの環境です。できるだけお金をかけずスマホの映像と録音でもっと簡単に安価にできる機材やソフトがあれば知りたいです。

今回の作業を行い、出来た4曲の映像をDVDに作成し、多くの知り合いに見せたところ、「良かったよ」「曲だけでなく映像があると更に曲の良さが見えるよ」の声をいただいています。なかなか演奏の機会がない日が続きます。この曲を映像化したい…と思う作品の感動が一番大切ですが、これからも何とか頑張っていきたいと思います。

参照動画 <https://youtu.be/tORdWEwACGs>

2021東北北B合宿

3県支部（青森・秋田・岩手）で検討中

7月22日に開催した東北北 B 合宿の打合せにおいて「ウェブコンサート」も企画してみることにになりました。是非とも実現したいものです。

1. 開催時期

今年11月13日から開催を予定していた沖縄音楽祭典は、コロナウイルス禍の影響から中止となったため、全国総会をウェブ（Zoom）会議形式で11月13日13時から17時を目処に開催することを中央幹事会で決定しました。

そのため、支部の活動としては全国総会に向けた議案討議と意見集約がありますが、音楽の現場を作る時間も十分にありと考えることができます。すでに打ち合わせのところで、12月開催の話もでていたので、この状況を有効に活用しない手はありません。

12月の土曜日だとすると、①12月4日、②12月11日、③12月18日が候補です。

また、出演グループの練習や創作に少し時間が必要な場合は、年を越して1月に開催する選択肢もあるかもしれません。それぞれの支部の活動予定や会員が所属している労組や団体の活動予定、会員個人の予定などを考慮して決定しましょう。

2. 開催時間

中央幹事会主催のBBBコンサート（第2回RMM）では15時開始としました。そのころは、視聴者は自宅からズームで参加する皆さんが多いため夕食時間などを考慮にいたしたことやアルコールなしで開催することだったと思います。

プログラムの数にもよりますが、開催時間は120分位がいいのではないかと思います。

3. 開始時間

開始時間は、開催条件によって変わるかと思えます。

〈1〉例えば、各県が会場を1カ所に限定するなら、会場や撮影機材・演奏機材の設営や撤収、画角の調整、音質の調整などに時間が掛かりますので、コンサート120分でも設営・リハーサルに120分、撤収に60分は掛かるとして休憩を除いても300分は掛かります。少なく見積もっても13時集合から各種設定して、15時開会17時終了、撤収完了18時という時間配分が想定されます。

〈2〉個人宅もしくは公共施設の個室などをそれぞれ会場にするなら、設定はそれぞれが所有している機材で対応するということになります。この場合は、所有するPCのスペックや使用している部屋の作りや照明具合によって音質や画質が決まることになります。

この場合も、画角の調整や音の聞こえ方など事前にチェックが必要です。BBBのコンサートでは、一週間前にチェックをしています。

事前にチェックが済んでいることから、開催時間前の設営時間を30分にすることも可能かもしれません。

〈3〉Web飲み会付きコンサートは、参加者が自分の出演時間以外は飲みながら参加することを前提の企画です。会場・画角・音質などのチェックは、〈1〉と〈2〉に準じますがアルコール飲料はそれぞれが嗜むことになります。

どこで飲みながら参加するかは、それぞれの演奏する場所と関係がありますので、場所選びは慎重にしてください。コンサートの開始時間は18時もしくは18時半あたりになるかと思えます。

いずれにしても、グループ・ソロ・合唱など演奏の形態によって、自宅・公共施設・カラオケ屋・行きつけの飲み屋などなど会場を選ぶことが必要です。

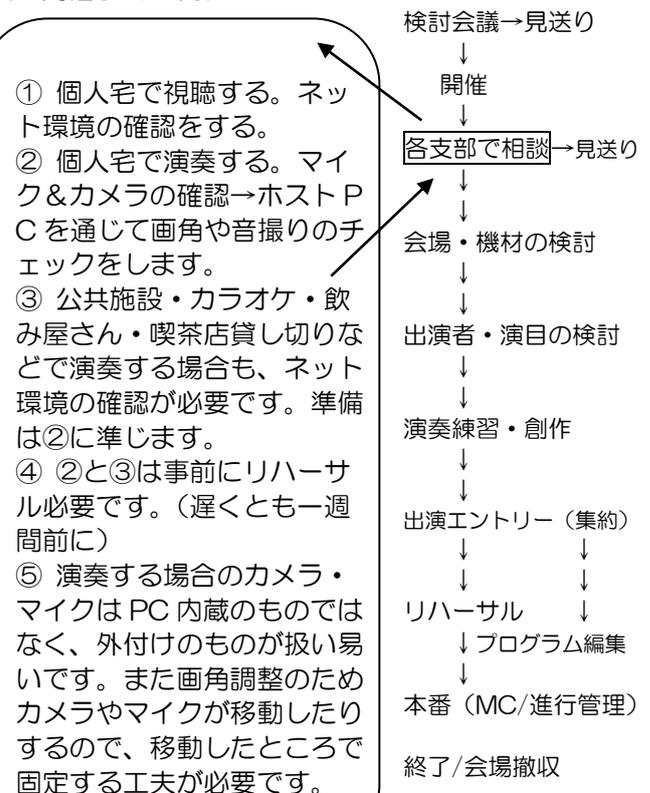
なお、会場選びにあたってはWi-Fiやネット回線などのネット環境があることが必須要件です。

4. コンサートの進行管理

進行を管理する上で演奏団体別に演奏曲目を事前に集約し、プログラムを編成します。

そのプログラムをもとにしてMC担当が進行しますが、MCと演奏する会場と演奏開始のタイミングを合わせるためにZoom撮影用PCと、MCの進行を確認するPCもしくは携帯電話でサポートする工夫が必要です。

5. 開催までの流れ



6. その他

ウェブカメラを前にして演奏する経験をしているひとは、日音協メンバーではそんなにいないと思われるので、完成度を追求するというのではなく、2年以上顔を合わせていない仲間の顔をみて歌を聴いて、音楽運動に対する思いを共有するコンサートになったらいいと思います。（秋田・後藤）

水道橋 だより

人の集まるところに「日本音楽協議会」

▼今月も菜葉坂行動はお休みとのことなので、アルバムから3枚の写真を取出してみました。(なかなか日音協の資料の整理が進んでいません。)(佐藤)

▼今年は昨年以上にコロナの感染が爆発的に広がっていて、友人のミュージシャン、イットク関係者にも広がっていて、特に俺の世代である50代で中等症や、重症化、死亡もありました。さらに感染対策をしていかなければ開催は難しいし、音楽業界全般に迷惑がかかります。マスク着用、検温、消毒、密にならないようにするのはもちろんです。▼問題は飲酒についてですが、一応、毎年禁止していますが、昨年まで容認してしまったところもあります。酒とロックは欠かせないものではありません。俺も酒大好きです。もちろん、悪いのは酒ではありません。酔って、マスクを外し、気が緩み、大声で話したり、回し飲みなど、他人を感染させてしまう可能性が高いです。▼なので「今年のイットクはアルコールを完全禁止にします。」▼出演者、スタッフで見つけた場合、誰に限らず、まず注意をして、帰ってもらうこともあります。それでも聞かない場合、危険であるので、演奏中止になる場合があります。あまりに酷ければ、イットクフェス全部のステージをその場で中止することもあります。場合によっては来年以降にイットクフェスは二度と開催しない可能性もあります。▼アルコールの没収は、場所的に処理が出来ず、スタッフへの感染リスクもあることなのでしません。よろしくをお願いします。▼もちろん、こんな状況になってるのは政治が悪いのですよ。文句を言うべきは政治にです。現在は戦時下だと思っています。犠牲者を出さないように助け合わなければならないのです。▼お互いに飲酒者や、マスクをしていない人に注意や声かけをしていきましょう。▼音楽とみんなの自由を守る為にご協力ください。(イットクフェス呼びかけ人：浦邊力)



どん行

(147)

飯島貞親

小さな犠牲はい
とわらない政府の
姿勢、それを
えようとしない
社会のゆがみを
もっと描いて欲
しかった。

▼映画「MINAMATA」は、
TEAMとエンターテイメントを両
立させるのに苦労しただろう▼監
督は「なぜこの映画を作らなけれ
ばいけないのか、誰のために作る
のか、世界の環境問題の現状を見
た上でこの映画にどんなインパク
トを持たせたいのかを深く考え
た。水俣病の被害者たちが、いま
だに患者認定されず苦しみの中
にいる。闘い続けなければならぬ
現実に驚いている。人類が地球の
一員なんだということに、私たち
自身がまだきちんと気づけていな
い。それが何よりも怖い」との問
題意識をもつ▼「水俣の人たちの
コミュニケーションが立ち上がり、政
府や企業など権力側に自分たちの
事実を突きつけ、社会を変えてき
た。公害の被害に今も苦しんでい
る人たちのためにも、助けとなる
ような作品を作りたかった。あら
ゆる公害問題の変化のきっかけに
なることを願っている」とも▼映
画の舞台は1970年代の水俣。
水俣病の公式確認から65年たっ
た今年に封切られた。60年安保を
経て政治から経済へと大きく転換
した日本社会。高度経済成長は重
化学工業を人命より優先した。成
長のためには(権力者にとって)